

切除径 10cm を超える胃の内視鏡的粘膜下層剥離術における 安全性と有効性を評価するための後ろ向き研究

1. 研究の対象

2014 年 1 月～2026 年 8 月に当院で胃内視鏡的粘膜下層剥離術を受けられた患者さんの中で切除径の長径が 10cm を超えていた方

2. 研究の概要

研究期間: 総長の研究実施許可日～2029 年 12 月 31 日

研究目的: 胃内視鏡的粘膜下層剥離術において長径 10cm を超える切除を行った場合における安全性と患者の生存期間や追加治療の有無、背景などについて検討することです。

研究方法: 研究対象者の方の診療録を後ろ向きに調査し、背景因子、治療内容などを評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、内視鏡治療内容、病理診断結果、追加治療の内容、再発の有無など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 消化管内科 研究責任者 加藤 穰

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

電話: 06-6945-1181

-----以上